

【市民交流センター・東山児童館のあり方に関する説明および意見交換会 議事録】要旨

日時：令和 7 年 7 月 31 日（木）19:00～20:30

場所：市民交流センター 集会室

参加者：

【彦根市】彦根市長、企画振興部職員、こども家庭部職員、人事部職員

【説明会参加者】29 人（運営委員、地域住民等）

■ 説明内容の要点

1. 【財政状況と公共施設の見直し】

- ・ 給与収入、助成金、生活費など家庭に例えた市の財政説明。
- ・ 投資や貯金（例：新規事業、修繕積立）に回す余力がなく、危機的状況。
- ・ 昭和 34 年以降、施設数は減少したことがなく、今後は適正配置が不可避。

2. 【東山児童館・チャチャひろばについて】

- ・ 昭和 58 年築で老朽化が著しく、冷暖房設備も不十分、雨漏りもある。
- ・ 児童館の個人利用者は年々減少しており、令和 7 年 4 月～6 月はそれぞれ月 3 人、利用者ゼロの日が多い。
- ・ 「チャチャひろば」には、1 日平均約 27 人の利用があるため、より快適な場所（市内北部）へ移転し継続する方向。移転が決まれば、児童館は閉館予定。チャチャひろばは今後、他のひろばと同様に、国・県の補助金活用で民間委託へ移行予定。

3. 【市民交流センターについて】

- ・ 年間延べ利用者数：約 6,000 人（実人数 約 1,000 人）。
- ・ サークル活動、自治会、子ども食堂、高齢者サロンなど多用途に利用。
- ・ 築 46 年経過、近年は大規模修繕（3 年で合計 2,000 万円超）実施。

■ 市民・団体からの意見要旨

◆ 地域拠点としての重要性

- ・ この場所を地域で育ててきた。市が簡単に「廃止」と言うなら、最初から残しておいてほしかった。見捨てられたように感じる。
- ・ 車がないから他には行けない。ここは歩いて来られる唯一の場所。高齢者の居場所でもあり、講座もたくさんしている。防災の避難所でもある。
- ・ 佐和山学区には会館がなく、ここがなくなれば交流の場は無い。子どもから高齢者まで交流できる場所が必要。

◆ 子育て・居場所機能の重要性

- ・ まんまるひろばや和室は乳児が多いので、幼児が走り回れる体育館が必要。子どもセンターは遠すぎて、車がないといけない。市北部にもそういう場所が必要。
- ・ 東山児童館がなくなると、彦根市に児童館がなくなる、児童館は単なる遊び場だけでなく、関係性をつくることのできる機能がある。
- ・ 保育士さんがいて、実家へ帰ってきたような安心感がある。数字に出ていないが、親が安心すると子も安心する。佐和山学区は、転入先としても人気で、その理由としては地域のつながりが残っているから。高齢者同士も同様、そういった顔が見える繋がりの方所の提供を実行するために、地域としても協力したい。

◆ 他自治体事例・運営提案

- ・ クラウドファンディングを活用しては。維持費や修繕費を例えば 5 年分確保して、その間に運営方法を再検討するなど、段階的な対応も可能では。
 - ・ 甲賀市では、地域住民が自治会費等で建物を建て、運営管理までを担っている「草の根ハウス」というものがある。こういったことを活用すると、地域住民で維持できるのではないか。
 - ・ 利用料徴収等の収益化や地域の協力を得て、運営費に充てることはできないか。手上げ方式で団体に協力金を募るなどの方法はどうか。
 - ・ 学校開放（グラウンド・体育館）のように、年間で使用団体を募り、予定を決め、鍵の開け閉めを任せるのはどうか。
 - ・ 地域・市民・民間と一緒に運営することで、市民交流センターの機能を推進してほしい。
 - ・ 事業用定期借地権を活用し、例えば、建物をいくらかで事業者に貸し、保全・運営はそちらが担う形をとるなど、事業者とタッグを組んで、財政難との両立を図ってほしい。
-

■ 市長挨拶

- 市の財政は厳しく、小学校トイレの改修や交通安全施設の整備も先送りになっている現状がある。
- 年間 2,500 万円かかる市民交流センターの維持費は大きく、今後さらに増加が見込まれる中で、現状のままの維持は困難。
- 今回はクラウドファンディング、定期借地権、有料化などの提案が市民から出てきた。
- こうした提案は、施設を残したいという思いの表れであり、一部我慢してでも存続を望む声として受け止めた。
- たとえば、週 5 日の運営のうち 2 日は地元で鍵開けなどを担うことで運営費を抑える等、今後市民と協議を進めていきたい。
- この施設は地域にとって貴重な拠点であり、経緯も踏まえて、単に廃止か否かではなく、地域と協力しながら活用のあり方を考えたい。

■ 今後について

- ご不明点や資料に関するお問い合わせは、記載の連絡先までお願いしたい。
- 本日いただいたご意見は関係部署とも共有し、今後の検討に活かしていく。
- 今後も市民説明会を開催する予定があり、その際には改めてご案内する。